



JAPAN MONKEY CENTRE

FAX COVER LETTER

公益財団法人

日本モンキーセンター

送信先 報道各位

送信枚数 本紙を含めて 5枚

送信日 2014年 12月 21日

ゴリラの FUN から実をつけた 縁起物 「奇跡のみかん」 について

早いもので、2014年もまもなく終わろうとしています。皆様ますますご活躍のことと存じます。冬の風物詩「たき火にあたるサル」の話題では、大変お世話になりました。

さて、今年もゴリラの FUN から実をつけた『奇跡のみかん』がたわわに実りました。年末年始のおめでたい催しとして、1月1日~4日の4日間、皆様に『奇跡のみかん』を先着順にてお配りいたします。これに先立ち、12月24日（水・休園日）11:00より、みかんの摘み取りをおこないます。

ちょっと変わった年末年始の話題として、ご紹介いただければ幸いです

どうして「奇跡」なのかと申しますと、実はゴリラのウンチに混じっていたみかん（甘夏のなかま）の種が奇跡的に生き残り、大樹となり、甘い実を結んだのです。

奇跡の理由

- ① モンキーセンターのゴリラは毎日、みかん類を食べています。はっさくや甘夏には種がたくさん含まれますが、一部は噛み潰されてしまいます。
- ② 生き残った種はフンとともにゴリラの体内から出てきます。しかし、毎日の清掃によりほとんどが回収され処理されます。
- ③ まれに生き残った種が発芽しても、除草されたり踏み潰されたりして、ほとんどが生き残りません。

それでも1本だけ生き残った木が大きく育ち、沢山の実を实らせました。しかも、季節に似合わずとても甘いのです。それで『奇跡のみかん』と名付けました。

“奇跡”の裏にある大切なこと

ゴリラのフンが森を育てる！

- ・野生のニシゴリラはさまざまな果実を食べますが、多くの場合、果実の中の種もそのまま飲み込んでしまいます。飲み込まれた種は消化されず、フンと一緒に排出されます。
- ・ゴリラが移動して離れたところにフンをすると、森のあちこちに種が捲かれます。また、フンから出てきた種は、通常の落下種子よりも発芽率が高くなります。こうして植物は子孫を増やしていきます。
- ・ゴリラに種を運んでもらうために、一部の植物はゴリラが好む果実をつけ、飲み込まれやすい種を作るよう進化してきました。
- ・これらの植物とゴリラの共生関係は、長い進化の中で育まれてきました。もしもゴリラが絶滅してしまったら、、、！？
ゴリラを守ることは、森全体を守ることにもつながるのです。

奇跡の裏にあるゴリラと植物の関係についても、本企画を通して多くの方に知っていただければ幸いです。

■『奇跡のみかん』の摘み取り ※休園日に実施

日時：2014年12月24日(水) 11:00～

場所：アフリカセンター

ゴリラの檻の脇のみかんの木の周辺で、奇跡のみかんの摘み取りをおこないます。当日は休園日ですが、取材をしていただけます。

11:00より数分間、みかんとゴリラのタロウの様子を撮影していただき、その後ゴリラを室内に収容してから、みかんの摘み取りをおこないます。

■『奇跡のみかん』のプレゼント

日時：2014年1月1日～4日 10:00～ なくなり次第終了

場所：アフリカセンター ゴリラ舎前

各日先着50個(予定)の「奇跡のみかん」をプレゼントいたします。

※霊長類の保全、福祉、環境教育のために、お志も受け付けます。

お問い合わせ先

本件に関するお問い合わせは以下へお願いいたします。

〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林26 公益財団法人日本モンキーセンター

TEL：0568-61-2327 FAX：0568-62-6823 メール：info@j-monkey.jp

担当：園長 伊谷原一、学術部 高野智、赤見理恵、大橋岳、新宅勇太

【資料:過去の摘み取りの様子】



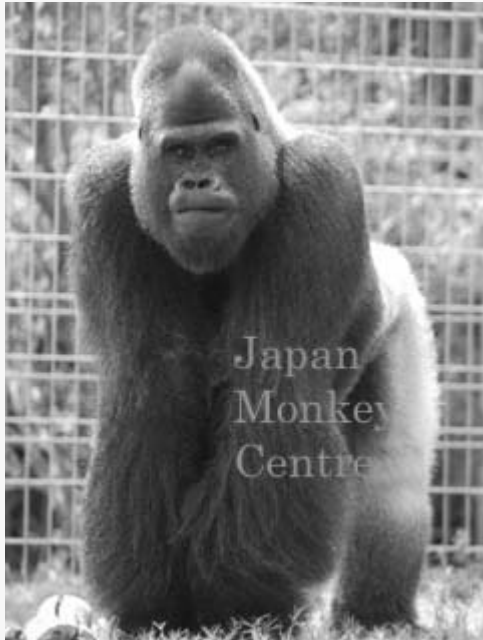
奇跡のみかんと、ゴリラのタロウ。



摘み取りの様子。脚立をつかい、飼育員が連携して摘み取ります

【資料:ニシローランドゴリラについて】

ニシローランドゴリラ



英名 Western Lowland Gorilla

学名 *Gorilla gorilla gorilla*

CITES I

IUCN CR

分布



ナイジェリアからコンゴにかけてのアフリカ大陸西部

会える場所

アフリカセンター

- 現生では最大の霊長類。
- 性差が大きく、オスは大きいもので体重 200kg を超えるものもいるが、メスは 100kg を超えることはない。
- オトナのオスは背中の中節の体毛が白くなり、シルバーバックと呼ばれる。
- 1頭のシルバーバックと複数のメスとその子供によるハーレム型の集団をつくる。大きな群れでは複数のシルバーバックが存在することもある。
- 果実や草、葉、つるなどを主に食べる。
- 地上では、手の指の中節の背側を地面につけるナックル歩行で移動する。大きな体だが、実は木登りも得意。